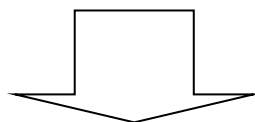


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、そこから考えたことをノートに丁寧にまとめること。 文章を深く読み進め、友達と意見を共有できること。 語彙力を高め、文字を正しく丁寧に書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ノート作りを見直し、手本を担任から示して、どのように書いていけばいいかの見通しをもたせる。 文章を読んで考えを深める際に、友達と意見を確認できる時間を作るようにする。 宿題や漢字練習を活用し、練習を何度も行えるような学習環境を作る。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 歴史上の動きがなぜ起こったのかを考え、自由な考えをもつこと。 日本の政治に興味をもち、それに対して意見をもてること。 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の流れをただ書き写すだけでなく、考えを深められる時間を確保し、自由に考えができる時間を作る。 自分自身の考えを深められるように友達と考えを共有できる時間を確保する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題に対して、考えを深め、多方面の考え方で答えられること。 素早く正確に計算ができること。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題⇒解く時間⇒確認のサイクルを確立し、児童が考える時間をしっかり確保する。 100ます計算などを活用して、計算の力を伸ばす。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験を正確に行うこと。 予想をたてて、それをどのように実験するのかを考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験の手順を正確に表し、自分が何をすればいいのかを把握できるようにする。 予想⇒実験方法⇒実験⇒考察⇒まとめのサイクルを確立し、考える力を伸ばしていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、どのようにすれば、力が伸びるのかを考えること。 何事にも挑戦しようとする気持ちをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> プリントや授業の流れを視覚化する。また、プリントを活用して考える時間を確保する。 めあてを確実に示し、やるべきことを視覚化する。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の教材に対して、深く考え、自分の生活に還元できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ノートを活用し、考えをまとめやすくする。
総合	<ul style="list-style-type: none"> 自ら学んでみたいことを考え、それに対して資料をもとにまとめられること。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な調べられるテーマをつくり、そこからインターネットや学校図書館を活用して、調べる時間を確実に確保する。

家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン、裁縫道具などを正しく使って、自分の生活に役立つものを楽しく作ること。 ・栄養バランスを考えて食事をとったり、簡単な料理を作ったりして健康に気を付けた食生活を意識すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して手元を大きく映したり、動画で示したりしながら正しい用具の使い方を習得させていく。必要に応じ、学習をサポートする人的な支援も活用して個別の支援を行う。 ・栄養に関する基礎知識を習得できるように、ワークシートなどを工夫していく。また給食など日常的な食事の中でも、どの食材がどの栄養になるかなどを考えさせていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら様々な音楽に親しむこと。 ・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもつこと。 ・表したい音楽表現をするための技能を身につけること。 ・楽器を大切に扱ったり、挨拶をしっかりとしたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時のねらいを明確にし、個人の学習活動を保証すると同時にペア、グループ学習を有効に取り入れる。 ・個人の考える時間や全体での共有の時間を取りながら自分の考える表現に自信をもつよう導く。 ・運指表の掲示や机間指導を通して個々人の進度に気を配るようにする。 ・掲示物と声掛けを習慣化するようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や他者の感覚や行為を通して、造形的な見方考え方を深めること。 ・材料や用具を活用し、表し方などを自分で発想し構想を重ねながら、創造的に作ったり表したりすること。 ・親しみのある作品などを鑑賞し、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、他者の感じ方に触れながら自分の見方や感じ方を深めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや面白さを深めるために、既習の道具や材料を使ってよいことを常に伝える。 ・発想を深めるための手立てとして、相互鑑賞の場の作り方を工夫し、自分と他者の感じ方の相違を感じる機会を持ち、価値観を広げるきっかけをつくる。 ・様々な鑑賞学習を実践する。名画の鑑賞も行い、自分の感性で作品を感じとるおもしろさを感じるとともに、見方を深め自分の表現に生かしていけるような活動の流れを考える。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・英語での会話や文章を聞いて、知っている単語を聞きとり、話のたいを理解すること。 ・日常生活に関する表現を覚え、友達と簡単なやりとりをしたり、自分のことを発表したりすること。 ・覚えた単語のいくつかをアルファベットで書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスニングの時間を設定し、わかったことをメモさせ、全員で確認する。 ・チャンツやゲームを工夫し、わかりやすく楽しめるルールのもとに英語表現に親しませる。 ・ライティングの時間を設定し、習った単語のスペルをよく確認させ、正確なアルファベットで書かせる。



	成果○ と 課題▼
国語	<p>○一年間ノート指導を行っていき、8割の児童がしっかりノートをまとめることができるようになった。手本を出せば、どのように書けばいいかを理解し、書きやすくなった。</p> <p>○友達との交流を多くとることで、授業への集中力が高まり、学習への意欲が高まった。</p> <p>○漢字練習を行える環境を推進し、自ら学べるようになってきている。</p> <p>▼自分たちでノートをつくるのが今後の課題である。自由に書く部分も作るなどの工夫を取り入れていく。</p> <p>▼授業で学習した内容の定着を図るため、今後も家庭と連携をとり、家庭学習も充実させていく。</p>
社会	<p>○歴史を暗記ではなく、考えることを多くとることでより興味をもって授業に臨める児童が増えてきた。</p> <p>○交流の時間を増やすことで、自分の意見だけでなく、友達の見解を尊重する様子が見られた。</p> <p>▼単元によっては、教師主導の授業になりがちであった。視点を広くもって考える時間の確保に努めていきたい。</p>
算数	<p>○考える時間を確保することで、課題解決のための自分の考えをもつことができるようになった。</p> <p>○100ます計算を活用することで、友達との競い合う心や計算能力が身についてきた。</p> <p>▼個別対応が必要な児童も自信をもって、話し合い活動ができるように、まず自分なりの考えがもてるように助言していく。</p>
理科	<p>○実験の手順が分かることで、自分たちで進んで実験を行う意欲が身についた。</p> <p>○考える時間を作ることで、授業への参加意欲が高まってきた。</p> <p>▼実験を安全に行えるために、注意事項を簡潔にし、児童に徹底周知させていく。</p>
体育	<p>○ワークシートを活用することで、どうすれば試合に勝てるのか、ゲームにおけるグループの作戦や、技能を向上させるための手立てを自分なりに考えながら運動に臨むことができた。</p> <p>○めあてを明確化することで、自分だけでなく周りにも配慮して運動に臨める児童が増えてきた。</p>
道徳	<p>○ノートを活用することで安心して自分の意見を書く様子が見られた。</p> <p>▼児童が、考え議論することができるような学習の流れをより工夫していく。</p>
総合	<p>○調べる時間を確保することで児童が興味をもって、すすんで調べ学習に取り組むことができた。</p> <p>▼個人差に対応できるように、課題の提示、助言方法など工夫していく。</p>
外国語	<p>○リスニングとして英語の歌を聴く活動を取り入れることで、外国語への興味とリスニングの力が向上した。</p> <p>○ゲームを多くすることで活動に意欲的に参加することができた。</p> <p>○ライティングの時間を設定することで書くという意識づけをすることができた。</p> <p>▼英語への苦手意識を減らしていくことを目指し、ゲームの他にも、分かりやすい教材を工夫していく。</p>
家庭科	<p>○理想の給食メニュー作りなどに取り組んだことは、児童の意欲を高め、栄養のバランスだけでなく、テーマをもった献立作りをすることができた。そのメニューが実際の給食献立となったことも児童の満足度を高めた。</p> <p>○ICTを活用することで、ミシンの扱い方などが具体的に分かり、児童の技術の向上に役立った。</p>

音楽	<p>○音楽会や卒業にむけた合奏、合唱を通して、学年全体で主体的に練習に取り組むことができた。</p> <p>○中心となる旋律や曲の盛り上がる場所などを全体で共有し、曲想を生かした表現の工夫に進んで取り組むことができた。</p> <p>▼ペア、グループでの活動があまりできなかった。かかわり合いを増やす学習活動を年間指導計画に取り入れていく。</p>
図工	<p>○これまでの学習を生かして、自分の表現の幅を広げる姿が見られた。</p> <p>○友達の表現からヒントをもらい、自分の表現に生かす姿が見られた。また、人の模倣だけでなく、自分のイメージをしっかりもち、他者との感じ方や表現の違いを楽しんでいた。</p> <p>○自分たちの作品や名画の鑑賞学習に意欲的に取り組んでいた。美術館での学習も実施することができ、絵をみる面白さを体感していた。</p> <p>▼限られた授業時間内で、自分の表現ができるように、課題の与え方、授業の流れ等を今後も工夫していく。</p>